



# きらめき

学校だより 第9号  
大宜味村立大宜味小学校  
令和5年6月22日(木)  
発行者：校長 平良 智

## 先生方もチャレンジ！小中合同授業研集会

19日(月)に、小中合同の授業研修会を行いました。これは、年2回行われる研修会で第1回目となる本研修が小学校の算数科、第2回目が中学校の道徳科の授業という具合に、お互いの授業を参観し、授業改善を行いながら大宜味の子らを小中で連携・協力して育てていく目的の授業研修会です。

今回は、3年担任の仲間雅子先生と6年担任の目取眞 堤先生が代表授業者として、算数の授業を行いました。3年生は「あまりのあるわり算」6年生は「分数のわり算」の単元でしたが、教材研究を深めた2人の授業は、子供達も意欲的に取り組み、交流を深めながら学ぶ活発な授業となりました。授業後の研究協議も小中の先生方で盛り上がり「発問」の仕方や対話的な学びを生む交流場面について、振り返りなどなど多くのことについて学び合い、とても有意義なものとなりました。

さらに、国頭教育事務所班長の神山先生、指導主事の仲宗根先生を招聘し、指導助言も頂き教師力のアップデートを図れた良い機会となりました。

今後も、小中の交流を深めながら、大宜味の児童生徒を9年間しっかりと育てていく連携を図っていきます。



## 「平和って何？」平和集会実施しました！

6月23日の慰霊の日を前に、本校では全児童で「平和集会」を実施しました。集会では、1年担任の前里恭子先生が「みなさん、平和って何だと思う？」「これって平和？」と児童に投げかけ、平和についてみんなで考えていきました。

沖縄で実際にあった悲しくて、恐ろしい戦争。「壕」「学徒隊」「対馬丸」「慰霊の日」「命どう宝」等々多くのことについて学びました。

そして、昨年の沖縄県全戦没者追悼式で読まれた山内小2年徳元穂菜さんの平和の詩「こわいをして、へいわがわかった」を企画委員会(児童会)のメンバーで音読をし、聞いてもらいました。最後は、「月桃」の合唱！歌詞の1行1行をしっかりと読み合わせて、心を込めて歌いました。

「知ること」はとても大切なこと！まずは私達の住む沖縄で起きた悲しい戦争を知っていきましょう。どうぞ、

「慰霊の日」を機会に、ご家族の皆さんでも「平和」についてお話をしてみてください。

